

授業科目名： 英語学概論Ⅱ	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2 単位	担当教員名：中山 匡美 担当形態：単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目（中学校及び高等学校 英語）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 ・ 英語学		
「学位授与の方針」との関係 星槎大学は、「人を認める、人を排除しない、仲間を作る」という三つの約束のもと、「人と人、そして人と自然とが共生する社会の創造に貢献する」を教育理念としています。共生科学部は、この三つの約束、教育理念に基づき、「21 世紀を創造する広く深い知の涵養」「共生する心の耕作」「課題探究能力の育成」「インクルージョン教育に基づいた社会実践を担い、社会変革を目指す人材の養成」を教育目的とし、以下の「星槎共生スピリット」を身に付けたものに学位を授与します。 A. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現の専門的知識を生かし、狭い専門領域を越えて統合しようとする意志を持つこと。 B. 問題が生起する現場において、専門知や統合知を使い、解決のために実践しようとする気概を持つこと。 C. 共感理解教育の理念を認識し、実践すること。 D. 多様な人々や生命に対して、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星槎の三つの約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけていること。 E. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけていること。 F. 共生社会創造の目的のために、絶えず学び続ける意欲を持つこと。			
授業の到達目標及びテーマ ・ 中学校及び高等学校における外国語科の授業に資する英語学的知見を身に付ける。 ・ 国際共通語としての英語、英語のヴァリエーション、会話で生じる含意、語や文の意味、英語の歴史的変遷、英語の音声について理解する。			
授業の概要 英語学概論Ⅱでは、テキストに沿って、国際共通語としての英語、英語の社会的属性、発話行為・ポライトネス（語用論）、語彙、文法、音韻からみる英語らしさについても学ぶとともに、理解を深めるために具体的なケーススタディにもふれる。スクーリングではアクティブラーニングの手法も用いて実施する。			
授業計画 第1回：英語学の「新しい」概論（テキスト 1.1～1.3） 第2回：さまざまな英語①3 種類のことば、3 種類の英語（テキスト 2.1～2.2） 第3回：さまざまな英語②World Englishes、シンガポールの英語（テキスト 2.3～2.4） 第4回：母語英語の特徴①イギリス英語の歴史（テキスト 3.1） 第5回：母語英語の特徴②現代イギリス英語の特徴、オーストラリア英語（テキスト 3.2～3.3）			

第6回：母語英語の特徴③アメリカ英語、カナダ英語（テキスト4.1～4.3）

第7回：英語と社会的属性（テキスト5.1～5.3）

第8回：英語の発話行為（テキスト6.1～6.4）

第9回：ポライトネスと事例研究（テキスト7.1～7.2）

第10回：談話分析と事例研究（テキスト7.3～7.5）

第11回：英語文化とコミュニケーション・スタイル（テキスト8.1～8.3）

第12回：英語の非言語コミュニケーション（テキスト9.1～9.4）

第13回：語彙からみる英語らしさ（テキスト10.1～10.3）

第14回：文法からみる英語らしさ（テキスト11.1～11.3）

第15回：音韻からみる英語らしさ（テキスト12.1～12.4）

定期試験

＊スクーリングではすべての内容を包括的に扱う。

教科書

（1）平賀正子『ベーシック 新しい英語学概論』ひつじ書房、2016年

参考文献

（1）寺澤盾『英単語の世界』中公新書 2016年

（2）鳥飼久美子『国際共通語としての英語』講談社 2011年

（3）中島平三『ファインダメンタル英語学<改訂版>』ひつじ書房 2011年

（4）堀田隆一『英語の「なぜ？」に答えるはじめての英語史』研究社、2016年

学生に対する評価

スクーリング評価（25%）、レポート評価（25%）、科目修得試験（50%）を総合して評価する。